

「子宮頸がん大学連携セミナー」開催報告

子宮頸がんは、近年、20代～30代の若い女性に増えていますが、この世代の方が、子宮頸がんに関する正しい知識を持つ機会が少ないのが現状です。

そこで、愛知県では、大学生の皆さんに正しい知識を持っていただくため、平成26年度から大学と連携し、セミナーを開催する取組を始めました。

平成30年度は愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学において、下記のとおり実施しました。

記

開催日時 平成30年10月4日（木）午後2時50分～午後4時10分

開催場所 愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学 1号館 5階 503教室

主催 愛知県・愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学

参加者 上記大学の学生、教職員等 90名



講演① がんと共に生きる

<講師>

若年がんサバイバー&ケアギバー集いの場
くまの間 代表 加藤 那津 さん

<内容>

がんの体験者である加藤さんからは、がん
と診断された後でも、治療と仕事を両立させる
だけでなく、患者会の活動や旅行などの趣味
やマラソンにも挑戦するなど、がんと共に
前向きに、自分らしく生きてきた、ご自身の
体験、思いをお話いただきました。



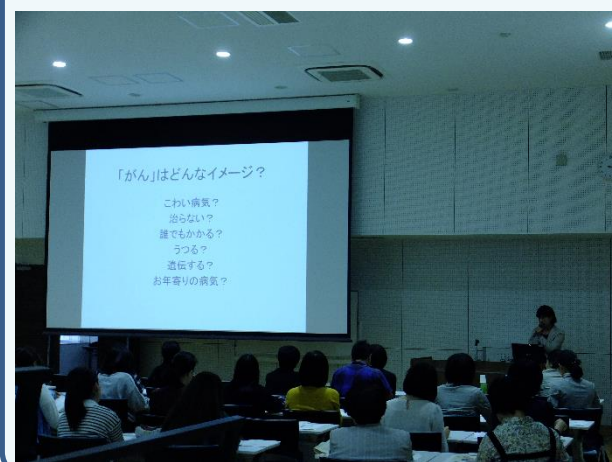
講演② 知ろう！考えよう！がんについて

<講師>

名古屋市立大学 大学院医学研究科
公衆衛生学分野 助教 中川 弘子 先生

<内容>

中川先生の講演では、がんはどのような病
気か、生活習慣によるがんの予防などがんの
基礎知識についてのお話と、20代～30代
の若い女性に増えている子宮頸がんの原因、予
防法、早期発見のためにがん検診を受けるこ
との大切さなどをご説明いただきました。



<参加者アンケートより>

- *自分には関係ないと今まで思っていたが、全然他人事ではないなと思った。
- *がんになったから何もできなくなるという訳ではなく、がんになっても旅行やチャレンジしたいことがあればできると知って、少しがんへの怖さが消えました。
- *誰にでもがんになることがあることを知り、生活習慣を見直したいと思いました。また、きちんと検診を受けて予防・早期発見に努めたいと思います。

⇒ 子宮頸がんの認知度に関するアンケートでは、参加者の64%が「子宮頸がんの主な発症原因がHPV感染であること」を知らず、また、58%の方が「子宮頸がん検診が20歳から推奨されていること」を知らない、という結果でした。

愛知県では、今後もこのようなセミナーを実施し、若い世代の方に、がんとがん検診についての正しい知識を持っていただく機会を増やしていきたいと思えます。